

上下水道の計画

① 上水道

瑞浪市内の水道管の延長は約508kmあり、この内、法定耐用年数である40年を超える老朽管は、令和5年度末時点で約89km存在し、全体の約17%を占めている。このまま管路が更新されない場合、老朽管が増加し、漏水事故や地震時の管路破断による断水が想定され、市民生活への影響が懸念される。

管路を計画的に更新する必要がある中、瑞浪市では国の水道総合地震対策事業の補助金を活用し、避難所や病院などの重要給水施設に配水するための耐震管を整備する事業を行っている。なお、配水池の耐震化率は98%の高い耐震化率となっており、今後は配水池・送水ポンプ等の再編で維持管理費用の削減を図る。

○管路耐震化（実施予定年）

- ・ 瑞浪地区および土岐地区
八幡橋から東濃厚生病院まで、八幡橋から四反田公園まで（2021～2025年）
- ・ 稲津地区
小井戸地区から瑞浪南中学校まで（2031年～2035年）
- ・ 釜戸地区
釜戸駅付近からみずなみ陶生苑まで（2031年～2035年）
- ・ 日吉地区および明世地区
南垣外地区から中部電力変電所まで（2026年～2030年）
市民体育館から明世小学校まで（2026年～2030年）
- ・ 土岐地区
一日市場地区から桔梗幼稚園まで（2032年～2033年）

○施設再編統廃合 2032年(令和14年)～2033(令和15年)

- ・ 老朽化が進んでいる稲津配水池を廃止し、稲津配水区を山田配水区に再編

瑞浪市制70thデザインマンホール



② 下水道

公共下水道の管きょ老朽化率は、類似団体平均値を下回っており、法定耐用年数である50年を超過した老朽管の改善を積極的に実施している。また、ストックマネジメント計画により、マンホールポンプ施設の改築を計画的に進めている。

農業集落排水については、2021年4月に日吉南部地区と月吉地区を公共下水道に統合した。また、月吉地区において、マンホールポンプ施設を省略するための整備を2025年度から実施予定。

市街地を中心とした雨水の事業計画区域内（571ha）において、内水浸水被害対策事業として、想定最大規模降雨（1000年に1度の降雨）に対する雨水出水浸水想定区域を指定するための、測量・調査・作図を2023年度から実施している。



共同処理施設

③ 浄化センター

浄化センターにおいては、2025年実施予定の浄化センタースtockマネジメント計画の見直しを行い、それに基づいて2026年の全体実施計画、2027年の詳細設計を経て2028年に自家発電機の更新工事を行い、2028年～2029年に水処理施設1の更新工事、2029年～2030年に水処理施設2の更新工事を実施する予定。



浄化センター全体図